

医学部

医学部は医学科と看護学科から構成されています。医学科の6年間では医師になるための医学を中心に学びます。看護学科では4年間で看護師、保健師、養護教諭などの看護職（保健師、養護教諭は選択制）になるための看護学を中心に学びます。出張講義では、医学、看護学に関する話題を分かりやすくお話しします。7月に県内の東予地区と南予地区で1回ずつ、両学科による出張講義を予定しています。中予地区では、オープンキャンパスの際に実施します。

医学部では、重信キャンパス（東温市）において5月に医学祭、8月にオープンキャンパスを開催しています。学部の様子、医学科や看護学科での学習の詳細などを紹介しています。実際に医学部に在籍する学生と直接話のできるプログラムも用意しています。これらの機会もぜひご利用ください。

※なお、上記の出張講義及びオープンキャンパス、医学祭等の行事の実施については変更となる場合があります。

医学部

講義番号	教員氏名	講義テーマ
1	医学科教員	医学科で学ぶこと、医学科で学ぶ前に考えて欲しいこと
2	看護系教員	看護学科で学ぶこと、これからの看護職者としての役割
3	陶山 啓子	幸せな高齢社会に向けて
4	山内 栄子	がんとともに生きる、そのとき看護には何ができるのか
5	藤村 一美	地域社会と健康

No. 1

【講義テーマ】／担当教員 医学科教員	講義時間／受講人数	
医学科で学ぶこと、 医学科で学ぶ前に考えて欲しいこと	講義時間	50分
	受講人数	制限なし
<p>医師になるということはどんなことなのでしょう？ そのために医学科ではどんなことを学ぶのでしょうか？そして医師を目指す高校生として、どんなことを考えておかなければならないのでしょうか？</p> <p>この講義では、医学科1年生対象の講義をモデルとして模擬授業を行います。これは教員が教えるのではなく、皆さん自身に考えてもらう授業です。授業では皆さんの質問に答えつつ、幅広いテーマを扱います。例えば「医学の進歩によって人類はどのように幸福になったのだろうか？」「患者と医師との関係はどのようなものが理想的だろうか？」「地域で活躍する医師とはどのような医師だろうか？」あるいは「医学部の教員や学生はどんな研究をしているのか？すべきだろうか？」等です。テーマについて自らの意見を持ち、積極的に考えようとする生徒さんを歓迎します。</p> <p>総合型選抜の説明のため、愛媛県内の高等学校等への出張講義のご要望を受け付けます(ただし、新型コロナウイルス感染症の状況とは関係なくリモート開催になる可能性があります)。また、7月に東予地区と南予地区で1回ずつ、両学科による出張講義を計画しています。この際、学校案内を別途行っています。また、中予地区はオープンキャンパスの際に実施します。</p> <p>※上記の東予地区と南予地区での出張講義及びオープンキャンパスの実施については変更となる場合があります。</p>		
□実施校において準備が必要なもの		
プロジェクター、スクリーン(リモート開催の場合はインターネット環境等が必要となります。)		

No. 2

【講義テーマ】／担当教員 看護系教員(看護学科長、教務委員長ほか)	講義時間／受講人数	
看護学科で学ぶこと、 これからの看護職者としての役割	講義時間	50分
	受講人数	上限40人
<p>看護学科で学ぶことは、看護師になるということだけの学習ではありません。では、どのようなことを、どのように学ぶのでしょうか？</p> <p>「看護」とは人々の健康な生活や幸せな人生を支えることを目標に、病める人々にはその苦痛を緩和し健康を回復するために、健康な人々にはより健康な生活を支援する機能を持ちます。看護学科で学ぶことについて、そして、看護の果たす機能や、これからの看護に対する展望を参加者の質問に答え、一緒に学びます。</p> <p>講義実施期間については、看護学実習等で、教員が学外に出られる期間が限定されます。個別の学校への出張講義は、ご希望に添えない場合があります。</p> <p>医学部として、両学科で、東予地区、南予地区で1回ずつ出張講義を計画しています。その機会をご利用ください。</p> <p>中予地区は8月のオープンキャンパスをご利用ください。</p> <p>※上記の東予地区と南予地区での出張講義及びオープンキャンパスの実施については変更となる場合があります。</p>		
□実施校において準備が必要なもの		
プロジェクター、スクリーン		

No. 3

【講義テーマ】／担当教員 地域健康システム看護学 陶山 啓子	講義時間／受講人数	
幸せな高齢社会に向けて	講義時間	50分
	受講人数	上限40人
<p>みなさん御存じのように、我が国は世界一の長寿国です。この長い人生を最後まで豊かに暮らすためには、どうすればよいのでしょうか？</p> <p>人は皆、歳をとります。そして、高齢になると病気や障がいなどで様々な不自由さを引き起こします。高齢者の方が体験する不自由さは、単に身体機能の低下による問題ではなく、社会のありようが大きく影響している場合があります。すべての人々が老いることについてもっと理解する必要があります。この授業では、医学だけでは克服できない「老い」ということについて、皆さんと一緒に考えたいと思っています。</p>		
□実施校において準備が必要なもの		
プロジェクター、スクリーン		

No. 4

【講義テーマ】／担当教員 基盤・実践看護学 山内 栄子	講義時間／受講人数	
がんとともに生きる、 そのとき看護には何ができるのか	講義時間	50分
	受講人数	上限40人
<p>がんの罹患率は増加し、いまや、がんは2人に1人がかかる病気となりました。しかし、がんの死亡率は減少しています。つまり、がんとともに生きる人が増えているということです。がんという病気に自分が罹ったとき、大切な誰かが罹ったとき、人はどのように生きていくのでしょうか。がんとともに生きるということ、そしてそのとき看護には何が期待され、何ができるのかということを、皆さんと一緒に考えたいと思います。</p>		
□実施校において準備が必要なもの		
プロジェクター、スクリーン		

No. 5

【講義テーマ】／担当教員 地域健康システム看護学 藤村 一美	講義時間／受講人数	
地域社会と健康	講義時間	50分
	受講人数	上限40人
<p>健康は、遺伝子や生活習慣など生物学的要因だけでなく、その人の社会経済的状況、人や社会とのつながりや社会の仕組み等の社会的要因によっても左右されることが明らかになっています。つまり、私たちを取り巻く「社会との関係」や「地域や社会のあり方」は、私たちが健康な生活を送ることができるかどうかに対して強い影響を与えると考えられます。</p> <p>私たちの健康を守るためにより良い社会を構築することが望まれますが、そのために看護職ができることはどのようなことなのか、一緒に考えていきたいと思います。</p>		
□実施校において準備が必要なもの		
プロジェクター、スクリーン		